

平成27年2月の船舶事故・人身事故発生状況（速報）

1 船舶事故

(1) 船舶事故は9件9隻（前年11件12隻）で、前年と比べて3隻減少し、死者・行方不明者は0人（前年1人）でした。

(2) 今年2月までの船舶事故数の累計は24件27隻（前年29件35隻）で、前年に比べ8隻減少しています。

死者・行方不明者の累計は0人（前年3人）で、前年と比べ3人減少しています。

(3) 船種別では、漁船が4隻と最も多く、次いでプレジャーボートが3隻、貨物船とタンカーが1隻ずつとなっています。

海難種類別では、乗揚が3隻と最も多く、次いで推進器障害が2隻、衝突、機関故障、火災、運航阻害（バッテリー過放電）が各1隻となっています。

（注）運航阻害：バッテリー過放電、燃料欠乏、ろ・かい喪失及び無人漂流をいう

2 マリンレジャーに伴う人身事故

(1) マリンレジャーに伴う人身事故者数は5人（前年6人）、死者3人（前年1人）で、前年と比べ事故者1人減、死者は2人増となっています。

(2) 活動別では、ダイビング中2人（前年1人）、釣り中2人（前年5人）、ボードセーリング中1人（前年なし）となっています。

事故形態別では、ダイビング中が溺水、釣り中が海中転落、ボードセーリング中が帰還不能となっています。

(3) 死者3人の内訳は、ダイビング中が2人、釣り中が1人でした。

ダイビング中の2人はいずれも潜水中の溺水で、うち1人はライセンス取得のための講習中に溺水しました。

釣り中の1人は岸壁での釣り中で、ライフジャケットを着用していませんでした。